

令和4年度 静岡市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和5年4月

静岡市（清水地区）（静岡県）

○計画期間:令和4年4月～令和9年3月(1年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和4年度終了時点(令和5年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和4年3月15日に認定を受けた「第3期静岡市中心市街地活性化基本計画（清水地区）」に基づき、商業機能、観光機能、居住機能の充足を目標として各事業を実施している。令和4年度は、新規事業者数が前年度から10件の増加となり目標を達成したが、歩行者通行量は新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年度の6割に留まる結果となった。

観光客数については前年度の377万人/年を大幅に上回る492万人/年という結果となったが、目標としていた530万人/年までの回復には及ばなかった。

令和5年3月より清水港への客船誘致が再開し、少しずつ外国人観光客の清水来訪も増加してきている。今後、増加した観光客にさらに広範囲を回遊してもらうための仕掛けを考えるなど、各指標において、新型コロナウイルス感染症拡大前の数値を上回るような事業を中心市街地活性化協議会と共に検討し、実施していきたい。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

（基準日：毎年度12月31日）

（中心市街地 区域）	令和3年度 （計画前年度）	令和4年度 （1年目）	令和5年度 （2年目）	令和6年度 （3年目）	令和7年度 （4年目）	令和8年度 （5年目）	
人口	5,663人	5,656人	-	-	-	-	
人口増減数	-	▲7	-	-	-	-	
自然増減数	-	-	-	-	-	-	
社会増減数	-	静岡市は算出不可					-
転入者数	-	-	-	-	-	-	

【清水地区】

項目	令和元年	令和2年 (基準年)	令和3年	令和4年	基準値との 比較(%)	備考
歩行者通行量	1,711 人	933 人	926 人	1,008 人	108.0%	中心市街地の 16 地点
観光客数	652 万人/ 年	290 万人/ 年	377 万人/ 年	492 万人/ 年 ※暫定	170.2%	「観光交流客数調査」 及び独自調査
中心市街地人口	5,873 人	5,808 人	5,663 人	5,656 人	97.3%	住民基本台帳
地価	162 千円/ ㎡	160 千円/㎡	154 千円/ ㎡	149 千円/ ㎡	93.1%	中心市街地区域内の 国交省公示価格最高 地点

2. 令和4年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

数値目標である観光客数や歩行者通行量は、基準値である令和2年度から令和3年度、そして令和4年度となるにつれ特に回復の傾向にある。新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少しずつ緩和され中心市街地に人出が増えてきていると思われるが、未だに感染症拡大前までの数値には戻っておらず、依然として楽観視できない状況である。

令和5年3月より清水港にて外国客船の寄港が再開され、さらなるインバウンド対策が求められる。全国の先進的事例を参考にしながら、引き続き中心市街地の活性化を推進してもらいたい。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善 状況	前回の 見通し	今回の 見通し
魅力的な人とお店が 出会い新たな価値を創造 するまちづくりによる商 業機能の向上 (訪れたい港町)	新規事業 者数 (累計)	14 件	38 件 (R8) ※累計	27 件 (R2) ※累計	A	-	①
人々が訪れてみたいと 憧れを抱く個性あるまち づくりによるにぎわいの 創出 (にぎわいのある港町)	観光客数	290 万 人/年	685 万 人/年	492 万 人/年 ※暫定値	B	-	①
居心地が良く暮らし続け られるまちづくりの推進 (住み続けたい港町)	中心市街 地人口	5,808 人	5,496 人	5,608 人	C	-	②
共通目標	歩行者通 行量	933 人	1,312 人	1,008 人	B	-	①

< 基準値からの改善状況 >

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

## 2. 目標達成見通しの理由

新規事業者数については、令和2年度の基準値である14件を上回り、27件（令和2年度～令和4年度）を達成したため、改善状況をA:目標達成、今回の見通しを①目標達成が見込まれるとした。

観光客数については、492万人/年という数値となり、令和4年度の目標値であった530万人には達することができなかった。しかし、清水七夕まつり等のイベントの復活により、昨年度の377万人から100万人以上の回復が見られたことや目標値の9割を達成したことから、B:基準値より改善と考えられる。今後の見通しについては、3月から清水港への外国客船の受け入れが再開するなどポジティブな変化が見られることから、①目標達成が見込まれるとした。

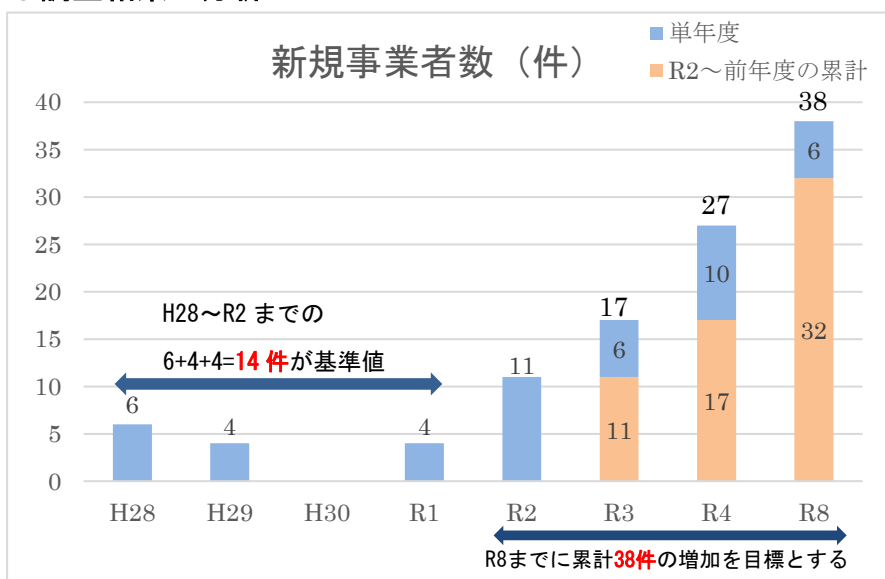
中心市街地人口については、5年間の計画上で増加は想定しておらず、減少幅を少なくしていくことを目標として数値を設定している。その中で、令和4年度は目標値である5,683人を下回る5,608人という結果となったためC:基準値に及ばないとした。しかし、移住就業補助金の実績が昨年度を上回っている等、関連する事業の進捗状況は順調であるため、今後の見通しについては初年度の段階では①目標達成が見込まれると考える。

歩行者通行量については、令和4年度の歩行者通行量は1,008人という結果となり、基準値である令和2年度の933人からは改善されたが、令和4年度の目標値である1,268人を下回る結果となったため、B:基準値より改善と評価した。現在歩行者通行量についてはコロナ前の6割にとどまっているが、今後、観光客数の増加の影響等による増加を見込んで初年度の判断では①目標達成が見込まれると考える。

## 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「新規事業者数（累計）」※目標設定の考え方認定基本計画P.70参照

### ●調査結果と分析



年	(件)
R2	11 (基準年値)
R3	6 (計画前)
R4	10
R4	6 (目標値)
R4	27 ※累計
R8	38 (目標値) ※累計

※調査方法：中心市街地内の主要な通りの店舗数を目視にて確認

※調査月：毎年1月

※調査主体：静岡市

※調査対象：清水駅前銀座商店街・清水中央銀座商店街・清水銀座商店会で各通りに面する建物で営業・運営している店舗・事業所

#### 〈分析内容〉

令和4年度の新規出店者数は単年度で10件、累計値は27件（令和2年度～令和4年度）という結果となった。新型コロナウイルス感染症による規制が緩和されたことなどにより中心市街地に人が戻り始めたことから、事業者の出店意欲が高まったのではないかと考える。

また、調査地点図にある清水銀座商店会が7件/年と最も出店が多かった。清水駅前銀座商店街の位置する清水区真砂町の地価が149千円であるのに対して清水銀座商店会の位置する清水区銀座の地価が98千円であることから、比較的に出店コストが抑えられる清水銀座商店会に出店が集中したと考えられる。

### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

#### ①.（仮称）空き店舗対策事業（静岡市中心市街地活性化協議会、静岡市）

事業実施期間	令和4年～【実施中】
事業概要	商店街の空き店舗を活用して新規出店をする事業者への補助の実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】0件/年（目標未達成）
事業の今後について	本事業の最新値は0件となり目標未達成という結果となった。しかし、新型コロナウイルスの影響から回復してきているなかで、新規出店を考えている事業者も増加していると考えられる。今後、①～③の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である2件/年を達成し、令和8年度の目標値38件を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

#### ②. チャレンジショップ出店支援事業（静岡市）

事業実施期間	令和4年～【実施中】
--------	------------

事業概要	大型商業施設等でのチャレンジショップの実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】0件/年（目標未達成）
事業の今後について	本事業の最新値は0件となり目標未達成という結果となった。対象施設から利用可能性がある事業者の相談等は見られたが、利用まで至らない結果となった。今年度は清水地区での利用件数を増やすための検討をしつつ、今後①～③の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である2件/年を達成し、令和8年度の目標値38件を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

### ③. 商店街空き店舗実態調査事業（静岡市）

事業実施期間	令和5年度【未】
事業概要	空き店舗活用に向けた基礎調査（不動産オーナーへのアンケート調査や空き家・空き店舗物件調査、データベース化等）を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和5年4月～令和6年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業は、令和4年度は未実施であるが、令和5年度の実施により清水地区の中心市街地の主要な通りである清水駅前銀座商店街を中心に新規事業者数の増加を見込んでいる。
事業の今後について	令和5年度事業として始める本事業は、空き店舗の情報等を収集することで事業者が新規出店をしやすい環境を作り、さらに新規事業者数の増加を助長すると考えられる。 ①～③の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である2件/年を達成し、令和8年度の目標値38件を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

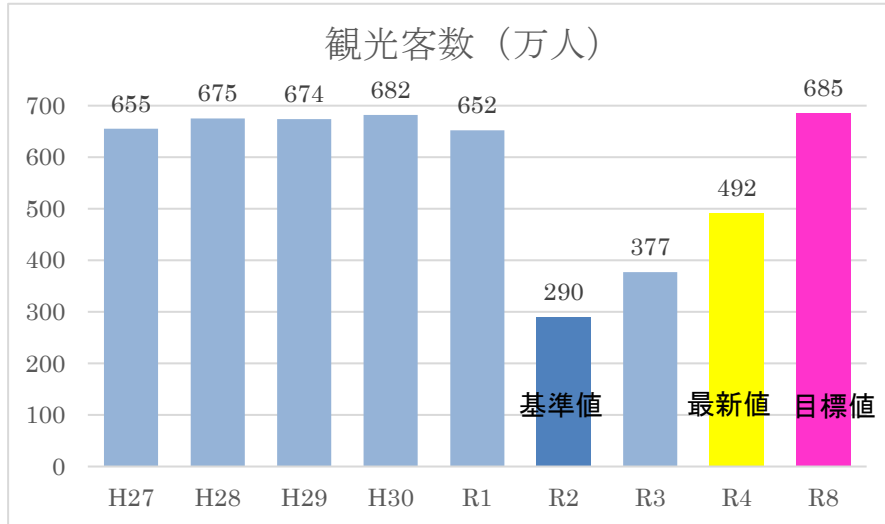
### ●目標達成の見通し及び今後の対策

令和4年度の新規事業者数は各年度の目標である6件/年を上回る10件/年という結果となった。今後、アフターコロナの中で新規出店を考える事業者が増加する可能性や、事業効果による増加などを考えると令和8年度の目標である累計38件（令和2年度～令和8年度）を達成する可能性が高いと考えられる。「空き店舗出店支援事業」や「チャレンジショップ出店支援事業」などの関連事業が順調に進むことでより一層新規事業者数を

助長することになるので、今後、中心市街地活性化協議会で事業の改善点など清水地区での実績を増やす方法について検討していく。

(1) 「観光客数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 71 参照

●調査結果と分析



年	(万人)
R2	290 (基準年値)
R3	377 (計画前)
R4	492
R8	685 (目標値)

※調査方法：各施設・イベント事業者へ文書照会を実施し、回答を集計

※調査月：毎年5～6月頃

※調査主体：静岡市

※調査対象：「観光交流客数調査」及び独自調査を基に、清水地区内の9施設及び8事業の利用者・参加者の合計により算出

〈分析内容〉

令和4年度の観光客数は目標値である530万人/年には及ばず492万人/年という結果となり目標未達成となった。しかし、前年度の377万人/年から115万人/年の増加がみられたため、新型コロナウイルスの影響が顕著に見られた令和2年度、令和3年度からかなりの回復は見られた。令和4年度は、清水地区の主要イベントである「清水七夕まつり」「清水みなと祭り」「富士山コスプレ大会」等が3年ぶりの開催となった。これらの主要イベントの復活や、「静岡市清水文化会館マリナート」「河岸の市」等の施設の来場者の増加により、115万人/年の増加につながったと考えられる。また、同年度3月からは清水港への客船寄港も再開し、令和5年度については春・秋を中心に客船が多く来港する予定となっている。加えて海洋文化施設の建設等の各事業の効果により今後さらなる観光客の増加が見込んでいる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. ウォーターフロント回遊性向上事業（静岡市）

事業実施期間	平成27年～【実施中】
事業概要	清水都心ウォーターフロントにおける人・自転車の動線検討、既存バス路線網検討、LRT 導入検討
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業は、平成27年度からこれまでにLRTの導入検討や、交通環境の改善調査等を行ってきたが、今年度は事業の進捗がなかった。
事業の今後について	ウォーターフロントの交通機能の充実、イベントや各施設の回遊性の向上に大きく寄与すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

②. 清水港客船誘致事業（静岡市）

事業実施期間	平成2年～【実施中】
事業概要	清水港への客船・帆船の誘致活動、寄港時の歓迎事業、調査研究事業、広報活動等
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和4年度は年度当初からの外国船寄港はなかったものの、令和5年3月からコロナ禍で中止されていた清水港への客船の寄港が再開した。①～⑧の事業と連携した総体効果として、530万人/年を見込んでいたが、492万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和5年度は年度当初の4月から客船が来航するため、昨年よりもより一層観光客数の増加に寄与すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

③. 静岡市清水文化会館マリナート運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成24年～【実施中】
--------	-------------

事業概要	静岡市清水文化会館マリナートの運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	展示会やコンサートへ等を目的として来場していただき、清水地区を代表する文化施設として定着してきている。今後も多くの観光客に来場していただき、清水地区の来街者・観光客数の増加を見込む。ウォーターフロントでの取組や河岸の市で等との連携により令和4年度は530万人/年を目標としていたが、施設への来場者がコロナ前までは戻らず、492万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和5年度は年度当初の4月から客船が来航するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

#### ④. 清水魚市場「河岸の市」運営事業（清水魚株式会社）

事業実施期間	平成13年度～【実施中】
事業概要	第1期計画で整備完了した「まぐろ館」を含む清水魚市場「河岸の市」の運営を行い、地域の観光機能を活かした活性化を牽引していく。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	近年は休日を中心に多くの来場があり清水地区を代表する観光施設として定着してきている。今後も多くの観光客に来場していただき清水地区の来街者・観光客数の増加を見込む。静岡市清水文化会館マリナートやウォーターフロントでの取組との連携で令和4年度は530万人/年を目標値としていたが、施設の来場者がコロナ前までは戻らないなどの要因により492万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和5年度は年度当初の4月から客船が来航するため、近年観光地として定着が見られる当施設は来館者のさらなる増加が見込まれる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

#### ⑤. 次郎長生家運営事業（静岡市）

事業実施期間	平成25年～【実施中】
事業概要	清水次郎長（1820～1893年）が産湯で使った井戸等が当時のまま保存され、写真や資料なども展示されている生家の運営



国の支援措置名 及び支援期間	観光客数
事業目標値・最新 値及び進捗状況	清水区の地域資源である清水次郎長を活かした次郎長生家は清水地区を代表する観光施設として認識されている。①～⑧の事業との連携により令和4年度は530万人/年を目標としていたが、492万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和5年度は年度当初の4月から客船が来航するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。清水次郎長は国内外を問わず来街者の興味を惹くコンテンツであるため、より一層の来街者が期待される。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑥. 富士山コスプレ世界大会開催事業（富士山コスプレ世界大会実行委員会）

事業実施期間	平成25年～【実施中】
事業概要	富士山コスプレ世界大会の開催（商店街を舞台としたコスプレイヤーの写真撮影会、コスプレ体験、コスプレランウェイ、痛車展示等）
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新 値及び進捗状況	本事業は、コスプレというコンテンツの活用により来街者の増加を見込んでいる。新型コロナウイルスの影響で清水地区では3年ぶりの開催となった。①～⑧の事業との連携により、令和4年度は530万人/年を目標としていたが、492万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和5年度は年度当初の4月から客船が来航するため、清水区への来街者が増加する。コスプレというコンテンツは国内外のどちらにも支持されるものであるため、さらなる観光客の増加が見込まれると考える。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑦. 清水みなと祭り開催事業（清水みなと祭り実行委員会）

事業実施期間	昭和22年～【実施中】
事業概要	清水みなと祭りの開催（港かっぱれ総おどり、海上花火大会等）
国の支援措置名 及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和4年4月～令和9年3月

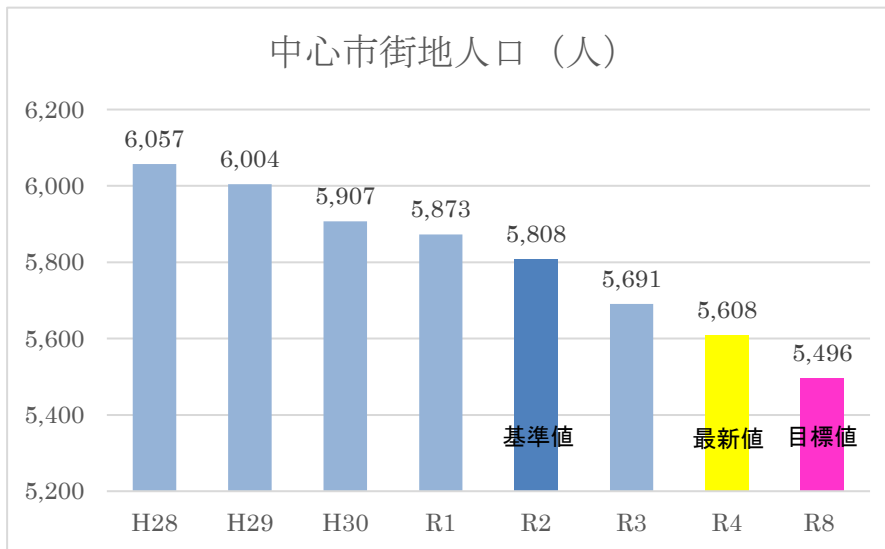
事業目標値・最新値及び進捗状況	清水区を代表する祭りとして古くから親しまれている清水みなと祭りは、イベント開催時に市内外からの来街者を見込んでいる。①～⑧の事業との連携により令和4年度は530万人/年を目標としていたが、492万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和5年度は年度当初の4月から客船が来航するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑧. 清水七夕まつり開催事業（清水七夕まつり実行委員会）

事業実施期間	昭和28年～【実施中】
事業概要	清水七夕まつりの開催（七夕竹飾りの展示、竹飾りコンテストの開催等）
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	清水区を代表する祭りとして古くから親しまれる清水七夕まつりは、イベント開催時に市内外からの来街者を見込んでいる。①～⑧の事業との連携により令和4年度は530万人/年を目標としていたが、492万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和5年度は年度当初の4月から客船が来航するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

(1)「中心市街地人口」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 72 参照

●調査結果と分析



年	(人)
R2	5,808 (基準年値)
R3	5,691 (計画前)
R4	5,608
R8	5,496 (目標値)

※調査方法：住民基本台帳のデータから清水区内の中心市街地 25 地点の合計から算出

※調査月：毎年 12 月 31 日

※調査主体：静岡市

※調査対象：中心市街地

〈分析内容〉

中心市街地人口については、5年間の計画上で増加は想定しておらず、減少幅を少なくしていくことを目標として数値を設定している。その中で、令和4年度は目標値である5,683人を下回る5,608人という結果となったためC:基準値に及ばないとした。しかし、移住就業補助金の実績が昨年度を上回っている等、関連する事業の進捗状況は順調であるため、今後の見通しについては初年度の段階では①目標達成が見込まれるとした。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 移住支援センター運営事業(静岡市)

事業実施期間	平成27年～【実施中】
事業概要	静岡市移住支援センター(東京・有楽町)の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和4年度最新値：補助金利用者 103人×0.7×0.25=18.025人≒18人 本事業は首都圏から市内への移住・定住促進を目的に移住支援センターの運営を行っている。本事業では、1年に9.3人の増加をみこんでいるが、今年度は目標を大幅に上回る18人の増加となった。しかし、令和4年度の中心市街地人口の目標は5,683人であるの

	に対し、最新値は 5,608 人という結果となり、目標を下回る結果となった。
事業の今後について	令和4年度の目標値は未達成という結果となったが、本事業については順調な結果を残している。①②の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である 10 人/年を達成し、令和 8 年度の目標値である 5,496 人を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

① 静岡市移住・就職事業（静岡市）

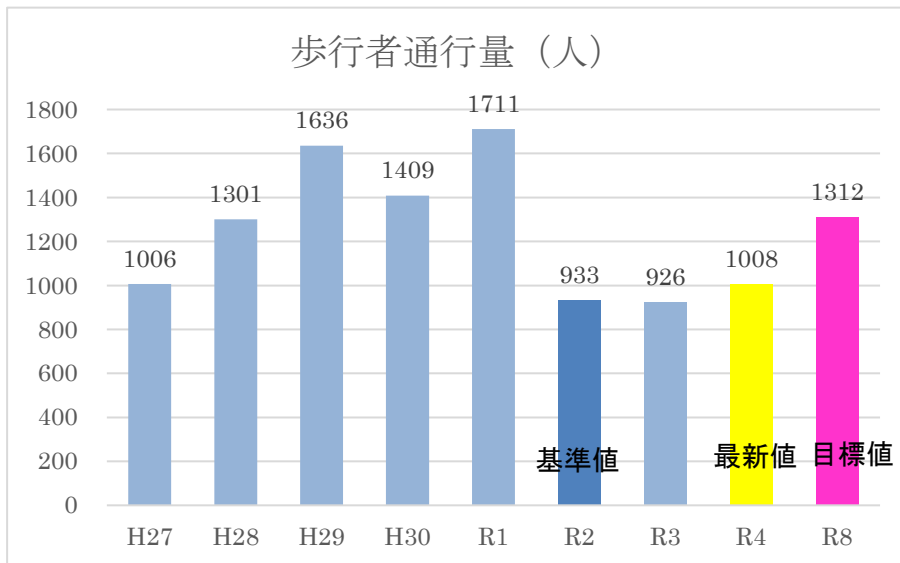
事業実施期間	令和2年～【実施中】
事業概要	東京圏から静岡市に移住し、就業・起業する際の助成
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和4年度最新値：補助金利用者 44 件人×0.7×0.25=7.7 人 本事業は市内への移住・定住促進を目的に市内への移住者が就業・企業をする際の助成を行っている。本事業では、1年に0.9人の増加をみこんでいるが、今年度は目標を大幅に上回る 7.7 人の増加となった。しかし、令和4年度の中心市街地人口の目標は 5,683 人であるのに対し、最新値は 5,608 人という結果となり、目標を下回る結果となった。
事業の今後について	令和4年度の目標値は未達成という結果となったが、本事業については順調な結果を残している。①②の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である 10 人/年を達成し、令和 8 年度の目標値である 5,496 人を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

本指標は5年間の計画で増加は想定しておらず、減少幅を少なくしていくことを目的としている。令和4年度の最新値は 5,608 人で同年度の目標値である 5,683 人を下回る結果となった。しかし、目標達成に寄与する事業として挙げている、移住支援センター運営事業・静岡市移住・就職事業はどちらも目標を上回る順調な結果を残している。本市への移住者や移住希望者は増加していると考えられるので、今後、移住促進事業に合わせて中心市街地の居住機能を高める施策等を検討し、中心市街地人口の増加を図っていく。

(1) 「歩行者通行量」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 73～P. 74 参照

## ●調査結果と分析



年	(人)
R2	933 (基準年値)
R3	926
R4	1,008
R8	1,312 (目標値)

※調査方法： 中心市街地内の16地点で、人が目視にて確認

※調査月： 毎年11月最終日曜日の10時～17時

※調査主体： 静岡市中心市街地活性化協議会

※調査対象： 小学生以上の歩行者

### 〈調査地点〉



No.	調査地点名	R1	R2	R3	R4	前年度比
1	清水駅西口	5,560	3,423	2,326	3,682	1,356
2	清水駅前交差点	761	547	466	691	225
3	清水駅前銀座 ・シーグランデ前	2,234	1,072	1,658	1,518	-140
4	清水駅前銀座 ・清水ベイプラザ前	1,503	856	855	1,241	386
5	清水中央銀座 ・蝶屋スタイル前	1,141	726	1,127	946	-181
6	清水銀座 ・パルシティ前	458	466	602	489	-113
7	新清水駅	2,645	1,190	1,432	1,471	39
8	相生町 ・産業情報プラザ前	390	243	318	332	14
9	清水港町 ・サンライス前	1,560	558	340	479	139
10	次郎長通り ・商店会事務所前	388	111	165	124	-41
11	自転車道 ・ドリブラ入口	5,641	1,442	1,955	1,964	9
12	自転車道 ・島崎町入口	665	368	492	402	-90
13	魚市場 ・河岸の市前	484	207	741	505	-236
14	清水駅東口	2,163	2,372	1,291	1,131	-160
15	JR真砂踏切	420	366	357	299	-58
16	歩行者デッキ ・マリナート前	1,365	988	704	863	159
17	清水マリンビル前 (R3から追加)			279	603	324
	合計	27,378	14,935	15,108	16,740	
	主要16地点平均	1,711	933	926	1,008	

### 〈分析内容〉

令和4年度の最新値では17地点中9地点が前年度より増加したが、7地点が前年度より減少という結果となった。主要16地点の結果もコロナ前の6割となり、厳しい結果となった。清水駅西口の数値が、令和3年度（昨年度）の2,326人から約1,300人増加の3,682人となったことから、コロナの影響が緩和されてJR清水駅の乗降者自体は回復の傾向であることが分かるが、周辺施設地点では歩行者の減少も見られ、乗降者が周辺を回遊していないことが1つの原因ではないかと考えられる。

令和5年3月から清水港の外国客船寄港の再開したことにより、令和5年度はより一層の観光客の回復が見込まれる。観光客を含む歩行者に対するイベントや各施設のPRの実施等により、来街者がより広範囲を回遊するような仕組みを模索し、来年度以降の目標達成を期待する。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. (仮称) 空き店舗対策事業 (静岡市中心市街地活性化協議会、静岡市) 【再掲】

事業実施期間	令和4年～【実施中】
事業概要	商店街の空き店舗を活用して新規出店をする事業者への補助の実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 (総務省) 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】0件/年 (目標未達成)
事業の今後について	本事業の最新値は0件となり目標未達成という結果となった。しかし、新型コロナウイルスの影響から回復してきているなかで、新規出店を考えている事業者も増加していると考えられる。今後、①～③の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である2件/年を達成し、令和8年度の目標値38件を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

②. チャレンジショップ出店支援事業 (静岡市) 【再掲】

事業実施期間	令和4年～【実施中】
事業概要	大型商業施設等でのチャレンジショップの実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 (総務省) 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	【最新値】0件/年
事業の今後について	本事業の最新値は0件となり目標未達成という結果となった。対象施設から利用可能性がある事業者の相談等は見られたが、利用まで至らない結果となった。今年度は清水地区での利用件数を増やすための検討をしつつ、今後、①～③の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である2件/年を達成し、令和8年度の目標値38件を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

③. 商店街空き店舗実態調査事業（静岡市）【再掲】

事業実施期間	令和5年度【未】
事業概要	空き店舗活用に向けた基礎調査（不動産オーナーへのアンケート調査や空き家・空き店舗物件調査、データベース化等）を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和5年4月～令和6年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	本事業は、令和4年度は未実施であるが、令和5年度の実施により清水地区の中心市街地の主要な通りである清水駅前銀座商店街を中心に新規事業者数の増加を見込んでいる。
事業の今後について	令和5年度事業として始める本事業は、空き店舗の情報等を収集することで事業者が新規出店をしやすい環境を作り、さらに新規事業者数の増加を助長すると考えられる。 ①～③の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である2件/年を達成し、令和8年度の目標値38件を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

④. 清水港客船誘致事業（静岡市）【再掲】

事業実施期間	平成2年～【実施中】
事業概要	清水港への客船・帆船の誘致活動、寄港時の歓迎事業、調査研究事業、広報活動等
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省） 令和4年4月～令和9年3月
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和4年度は年度当初からの外国船寄港はなかったものの、令和5年3月からコロナ禍で中止されていた清水港への客船の寄港が再開した。①～⑧の事業と連携した総体効果として、530万人/年を見込んでいたが、492万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和5年度は年度当初の4月から客船が来航するため、昨年よりもより一層観光客数の増加に寄与すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和8年度の目標値685万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。



⑤. 清水魚市場「河岸の市」運営事業（清水魚株式会社）【再掲】

事業実施期間	平成 13 年度～【実施中】
事業概要	第 1 期計画で整備完了した「まぐろ館」を含む清水魚市場「河岸の市」の運営を行い、地域の観光機能を活かした活性化を牽引していく。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	近年は休日を中心に多くの来場があり清水地区を代表する観光施設として定着してきている。今後も多くの観光客に来場していただき清水地区の来街者・観光客数の増加を見込む。静岡市清水文会館マリナートやウォーターフロントでの取組との連携で令和 4 年度は 530 万人/年を目標値としていたが、施設の来場者がコロナ前までは戻らないなどの要因により 492 万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和 5 年度は年度当初の 4 月から客船が来航するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和 8 年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑥. 清水七夕まつり開催事業（清水七夕まつり実行委員会）【再掲】

事業実施期間	昭和 28 年～【実施中】
事業概要	清水七夕まつりの開催（七夕竹飾りの展示、竹飾りコンテストの開催等）
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月
事業目標値・最新値及び進捗状況	清水区を代表する祭りとして古くから親しまれる清水七夕まつりは、イベント開催時に市内外からの来街者を見込んでいる。①～⑧の事業との連携により令和 4 年度は 530 万人/年を目標としていたが、492 万人/年という結果となった。
事業の今後について	令和 5 年度は年度当初の 4 月から客船が来航するため、清水区への来街者が増加すると考えられる。①～⑧の取組を総合的・一体的に推進することで、各年度の目標値を達成し、令和 8 年度の目標値 685 万人/年を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。

⑦. 移住支援センター運営事業（静岡市）【再掲】

事業実施期間	平成27年～【実施中】
事業概要	静岡市移住支援センター（東京・有楽町）の運営
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>令和4年度最新値：補助金利用者 103 人×0.7×0.25＝18.025 人≒18 人</p> <p>本事業は首都圏から市内への移住・定住促進を目的に移住支援センターの運営を行っている。本事業では、1年に9.3人の増加をみこんでいるが、今年度は目標を大幅に上回る18人の増加となった。しかし、令和4年度の中心市街地人口の目標は5,683人であるのに対し、最新値は5,608人という結果となり、目標を下回る結果となった。</p>
事業の今後について	<p>令和4年度の目標値は未達成という結果となったが、本事業については順調な結果を残している。①②の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である10人/年を達成し、令和8年度の目標値である5,496人を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。</p>

⑧. 静岡市移住・就職事業（静岡市）【再掲】

事業実施期間	令和2年～【実施中】
事業概要	東京圏から静岡市に移住し、就業・起業する際の助成
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	<p>令和4年度最新値：補助金利用者 44 件人×0.7×0.25＝7.7 人</p> <p>本事業は市内への移住・定住促進を目的に市内への移住者が就業・企業をする際の助成を行っている。本事業では、1年に0.9人の増加をみこんでいるが、今年度は目標を大幅に上回る7.7人の増加となった。しかし、令和4年度の中心市街地人口の目標は5,683人であるのに対し、最新値は5,608人という結果となり、目標を下回る結果となった。</p>
事業の今後について	<p>令和4年度の目標値は未達成という結果となったが、本事業については順調な結果を残している。①②の取組を総合的・一体的に推進することで、目標値である10人/年を達成し、令和8年度の目標値である5,496人を達成できるよう、市及び中心市街地活性化協議会で事業を検討、実施していく。</p>

**●目標達成の見通し及び今後の対策**

歩行者通行量の結果は1,008人で令和4年度の目標値である1,286人を大きく下回る結果となった。また、新型コロナウイルス感染症拡大前と比べても6割までしか回復していない結果となり、清水地区の歩行者通行量は依然として厳しい状況にあることが分かる。しかし、令和5年度3月から清水港への外国船の寄港が再開し、今後観光客数の増加による歩行者通行量の増加が見込まれる。インバウンド対策や周遊促進事業等を中心市街地活性化協議会で検討し、来街者の回遊性を高めることで今後の歩行者通行量の増加につなげていきたい。